

平成27年度沖縄総合事務局開発建設部コンプライアンス・  
アドバイザリー委員会（第1回）の議事概要について

1. 日 時：平成27年11月25日（水） 13時30分～15時

2. 場 所：事業審査室（4階）

3. 出席委員：委員長 阿波連 光 弁護士  
委員 友利 果苗 税理士  
委員 平敷 卓 沖縄国際大学講師

4. 議事概要

（1）「平成27年度開沖縄総合事務局開発建設部コンプライアンス推進計画実施報告」（中間）について

（2）コンプライアンス推進計画に関する年間の主な取り組み予定について

5. 各委員からの主なご意見等

○インストラクターの育成について

- ・どの守備範囲を取り組むのか。明確にした方が良い。
- ・守備範囲を広げるのは良いが、インストラクターが担当するのは、この4つとか決めて行う方が良い。

○コンプライアンス・ミーティングについて

- ・ミーティングの結果様々意見が出ており、「リスク回避平準化の体制構築が課単位での体制構築の許容値を超えている」「今の職場環境の実態を踏まえると、『リスク回避』より『リスク低減』を目標に行うことが重要」等の意見もあるが。

→回避という表現をとっているが、リスク低減、移転などを含め「回避等」として取り組んでいきたい。

- ・様々な意見が出てきているが、リスクについて、みんなで話し合ってそれをまとめて共有することは良いこと。皆が何を考えているかをお互い知ることが出来る。
- ・いろいろ出てきたものを、どう分類するかが大事。大きな項目に立て分ける。例えば、情報漏えいのくくりでチェックリストを作り、コントロールさせるなど。
- ・民間の例では、飲酒運転や犯罪など故意のものは外部窓口にまかせて、通常の中での不可避的なもの、ヒヤリハットのものをまとめて取り組んでいるところもある。

○事務所ごとの応札状況の透明化情報公開の強化について

- ・平均落札率は異常値が出たらすぐ解るのか。

→工事の種類によって率が違うし、予定価格に近いからといって一概に異常値と判断は出来ない。

- ・アクセス件数は確認しているのか？

→アクセス件数を確認出来るようにはなっていない、システム的に可能か確認して対応していきたい。

○事業者に対するパンフレット配布について

- ・業者からの反応はどうか

→特に確認はしていないが、こんご何らかの方法で確認していきたい。

○外部からの不当な働きかけ等への適切な対応について

- ・具体的な対応方法を、例えばロールプレイング等を通して職員に徹底することも大事
- ・実際の事例を通して情報を蓄積していくことも大事。

→今後のコンプライアンス・ミーティングのテーマ等として取り上げて取り組むことも考えていきたい。

- ・不当な働きかけとは具体的にどのようなものか？

→業者配布用のパンフを通し、「予定価格」「調査基準価格」「入札参加数」等を教えるなどの働きかけであることを説明。

○どのような工事が発注されるかなどの質問はないのか？

→年間の発注予定が公表されるためそのような質問はない。

○監査内容はまとめて皆さんに報告するのか。

→監査後には報告を行う。

○悪い事例、良い事例両方を紹介した方が良い。良い事例の方が皆さんの参考になる。